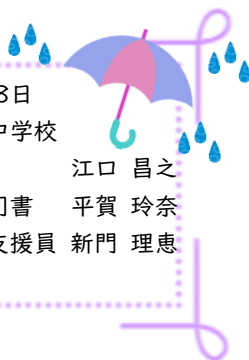


図書館だより

6月号



令和8年6月8日
港区立港南中学校
校長 江口 昌之
学校図書館司書 平賀 玲奈
学校図書館支援員 新門 理恵



蒸し暑い日が続きますが、よく眠ることができていますか。

図書館には、よく眠るためのポイントが書かれた本『すいみん図鑑全3巻』（498ス）や『すぐに試せるぐっすり睡眠法#スリトレ』（498ヒ）もありますので、足を運んでくださいね。



借りた本は返却期限を守りましょう。

返却の遅れている本があると新規の貸出ができません。

6月イベントのお知らせ **夏くじ**

6/22（月）～7/3（金）

本を一度に2冊借りるとくじがひけます。

当たりが出たら、しおりをプレゼントします。



『不思議な「カビ」のすべて』

細矢剛/監修（465ミ）



六月のおすすめ本

カビと聞くとパンについたカビや浴室のカビなどのイメージがあると思います。カビによってアレルギー反応や感染症になったり、最悪死に至ることもあります。その反面カビの発酵の力を利用してチーズやサラミ、ワイン、味噌や醤油などおいしい発酵食品になってもあります。医療品に使われることもあり、カビと人の関りはとても深い関係です。この本は、カビの種類の説明だけでなく、顕微鏡でみたカビの写真や身近なカビの実験など興味深いカビの世界を知ることができます。

ファシリテーション

気になる言葉



クラスで決めごとをする時には話し合いをしますね。話し合いの中で、声の大きな人の言葉がクラスの代表のようになっていたり、意見がぶつかってお互いに「論破」しようとして空気が悪くなること。そんな話し合いで決めた結論は、本当にみんなの意見といえるのでしょうか。よい話し合いをするための技術として「ファシリテーション」と呼ばれるものがあります。その本を開くと…どうやら、みんなが自分の立場を変えたり、意見を変えたりすることができる雰囲気があると、よい「話し合い」ができるようですよ。「話し合い」のヒントになる本をご紹介します。

『13歳からのファシリテーション：クラスで、学校で、社会で役立つコミュニケーション力が身につく本』 ちょんせいこ/著（メイツユニバーサルコンテンツ）（809千）

教室というひとつのコミュニティで、たまたま同じ年に生まれたクラスメイトそれぞれの意見が同じになるなんてことはありませんよね。中学生、高校生向けにお互いを尊重しながら、意見を出し合い、課題解決へと向かわせる話し合いの進行役の技術が詰まっています。

『教室を生きのびる政治学』 岡田憲治/著（晶文社）（311オ）

話し合いをする時に自分の教室での立ち位置は意見の出しやすさに大きく影響しますね。この本は日頃の教室で過ごす際にぶつかる人間関係問題を政治学から解決してくれます。

『「何回説明しても伝わらない」はなぜ起こるのか？』（今井おつみ/著 日経BP）（361イ）

なんでこの人とは話が通じないのだろう…そんな悩みをもつ事は日常茶飯事です。コミュニケーションを諦める前に一読してみませんか？